

田沼

新聞

35号

稲毛区

媚びない政治、ブレない政治、伝える政治

「創生日本」 田沼隆志

〔市議会ですべて一人の無所属（保守系）〕 議会報告



●維新の理念に感銘…強い日本を創る！

私は大阪維新の会の政策に強く共鳴し、最近はその千葉市政への導入を提案してきました。「勢いがあるから」「選挙に勝てそうだから」という想いはゼロ。全ては政策の素晴らしさ、です。皆さんも、ぜひマスコミ報道の印象ではなく、中身を確認下さい。優れた有権者から優れた政治が生まれます。中には、一部行き過ぎた政策もありますが、日本の閉塞感打破のためには、それくらい“破壊的に”踏み込まなくてはならないと感じます。安全運転、前例踏襲は許されません。

そして私は何より、維新の会の「理念」に感銘しています。「自立」「決定できる民主主義」「不連続への挑戦」これらは千葉市政のみならず、日本国全体が目指さねばならないと考えます。既存政党が決定できないのは、党内で理念がバラバラだから。国難のいま、もういい加減、そういった政治はやめなくてははいけません。

これから日本は、厳しい時代を迎えます。国際環境をみれば、増大する中国の脅威。国内をみれば、少子高齢化と生産人口の減少で、社会保障費は確実に増え、経済成長力は減ります。これらの危機を乗り越え、強い日本を創るには、いまの政治の延長では不可能です。千葉市から強い日本を創るべく、常に理念と大局観を持って、挑戦していきます！

田沼の議会質問

- ・教育委員会改革について（9月）
- ・区役所の自立強化について（12月）
- ・職員の評価待遇改革について（3月）

大阪維新の会の政策

- ・教育基本条例
- ・大阪都構想、道州制
- ・職員基本条例

●市長…危機認識がズれてませんか？！

3月議会で平成24年度予算が決まりました。依然財政状況は厳しいのですが、熊谷市長は各所であたかも、千葉市の財務体質が良くなったかのような発言をしていました。

しかし数値上でいえば「超最悪」から「最悪」になった程度。依然、政令市ワースト1位（大阪市よりも悪い）のままです。せめてワースト1位を返上したときに、改善を発信すべきではないでしょうか？

この議会での、他の質問項目でも明らかですが、熊谷市長の改革への取り組みはまだまだ全然足りません。安全運転派です。今後も正しい情報発信と、より大胆な改革を、求めます。



熊谷市長

大胆な事業の見直しや人件費削減など、財政健全化に向けた取組みを強力に推進した。その結果、財政再建への道筋を切り開くことができた。

それは言い過ぎ。千葉市の財務状況は依然、政令市ワースト1位で油断できない状況。訂正が必要では？



（訂正ではなく）改善基調にあることを情報発信すべき。



田沼

とんでもない！財政はまだまだ予算を許さない状況。ゴミ有料化や公民館有料化など新たな市民負担も検討されている。各分野の改革の踏み込みも不十分。全く認識がズれています！



●まだまだできる、保育所民営化

現在千葉市には109の保育所があり、うち60が公立保育所。民営化率は45%と政令市最下位です！（平均は70%）民営化すれば、市の負担は、改築で12分の1、運営費でも約半分となり、大幅に減ります。その推進を求めました。

田沼の質問

一部では、民営化すると保育の質が下がる（ゆえに民営化できない）、といわれるが、本当か？

すばり、民営化を推進するのか？

答弁

そういうことはない。（田沼：では民営化しない理由はないですね）

改築の段階で、民営化を含めて検討する。（田沼：曖昧な答弁…ぜひ積極的に進めてほしいです！）

コラム：全く改善のない教育委員人事に、反対

今議会で、教育委員6名のうち1名が新しく選任される同意人事がありました。医師の方です。教育委員の就任には議会の同意が必要なのですが、私は、反対しました。

【理由1】教育委員になる要件は「人格高潔、識見豊か」しかし渡されたのは、数行の履歴書のみ。本人に会うこともできない。こんな不十分な説明では、責任ある判断はできません！

【理由2】決め方があまりに前例踏襲で、主体性欠如。長年、医師や保健系の委員は“指定席”となっており、今回は医師会からの推薦との噂。教育委員は、教育行政のトップ。それがこのような「お客さんに来て頂く」ような決め方では、熱意ある改革などできるはずがない。私は認められません！

問題の本質は、前例踏襲的で情熱の一切欠けた、市長の態度。議会提案をするのは市長だからです。今後も改善を求めます。

●職員の、評価緩すぎ、もらい過ぎ

大阪維新の会「職員基本条例」に関連して、職員の人事評価や給与待遇見直しについて、質問。まだまだ、民間の感覚とかけ離れていると感じます。

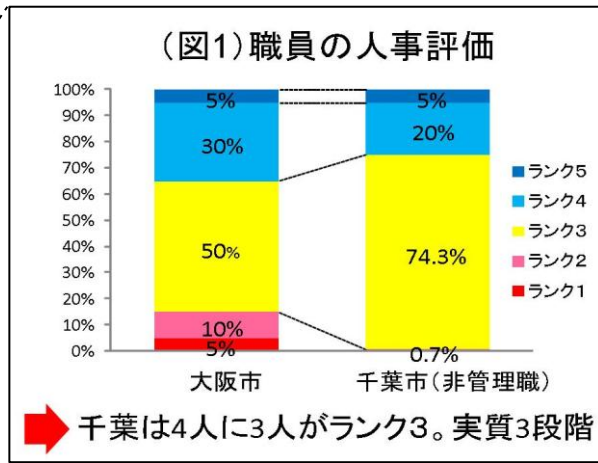
大阪市の職員基本条例は、5段階の相対評価であり、全ての段階で評価される人数の割合が決まっています。対して千葉市は、ランク5、4しか人数の割合は決まっています。そのため7043人の職員のうち2以下の評価を受けた職員はたったの47人！約0.7%です。かつ、これには休職者やメンタル疾患者も含むため、実態としては10数人だけ。実質、3段階評価なのです！4人に3人は、頑張っても頑張らなくても、ランク3の評価。これで緊張感ある職場と言えるでしょうか？これが行政のぬるま湯的体質の、真因ではないでしょうか？

私は会社員時代、まさに大阪市のよう激しい評価の職場にいました。大変でしたが、低評価の恐れがあるからこそ、やる気生まれ、組織が非常に活性化していました。今回市長側は「今の評価制度は組織活性化が目的」と答弁しましたが、現状でそれができるとは到底思えません！厳しく指摘しました。

また、用務員・運転手・清掃員などの技能労務職員の給与水準は、民間比であまりに高い！年収が900万円を超える清掃員や、850万円を超える運転手もいます。早急な見直しが必要です。仮にこれらの職員の給与水準を民間並みにした場合、なんと8.6億円もの削減効果があるのです。

しかし、実際は組合に配慮し過ぎて、この数年全く改革が進んでいません。大阪の橋下市長は就任後すぐに見直しを表明しましたが、千葉の熊谷市長は就任して約3年経つものの、このテーマは全く進んでいません。このままでは市民の理解が得られるとは思えない、一刻も早い見直しを、と要望しました。

私は公務員をひとくくりに批判するのは好きではありません。しかし、ダメな部分はダメと言わなければなりません。今回の質問は、当局にとっても相当厳しいものだったと思います。これからも、民間感覚と逸脱しない、頑張る職員がきちんと評価されて活気のある、そういう市役所にしていけるよう、積極的に提案します。



(図2) 技能労務職の給与水準

	技能労務職		民間	
	平均月収	平均月収	官/民比率	
運転手	418,875円	228,500円	183%	
用務員	345,557円	213,600円	162%	
清掃員	408,061円	294,000円	139%	

民間比であまりに高いのでは？

●親学で、親の育ち支援を！

私事ですが、2月に、長男が生まれました。子育ての大変さと素晴らしさを、身を持って体感しています。そのせいでしょう、子育て支援・家庭支援政策に急激に関心が高まっており、関連資格も取ったくらいです。これまで私の議会活動は、教育と行革が柱でしたが、家庭のあり方こそ、国家や地域社会の基礎です。この分野にも熱心に取り組みたく思います（元々私は、大学時代、子供と遊ぶサークルにも一時所属していたほど、子供好きでもあるので…）

そこで今回議会では「親学」を取り上げました。近年、子供をめぐるさまざまな問題が起きています。不登校児や学級崩壊の増加。また児童虐待は急増し、千葉市の虐待対応件数は436件と、10年前の2倍になりました。胸が痛みます。

これらの問題は、子供の問題というよりも、実は親の問題です。きちんとした働きかけをしてこなかった親自身に原因があると言えます。その点に着目し、子供ではなく、親自身の学び・育ちを支援する「親学」の導入を求めました。

昔は自分の親や兄弟、地域の方々から子育てのやり方を学ぶことができました。しかし近年、核家族化・地域との断絶で、お手本がなくなり、親の子育てに対する不安感は増大しています。子供がいる女性の6割以上が育児不安を感じているというデータもあります。現在行われている子育て施策は、悩み相談など、問題対応的な物が中心。それらも必要ですが、しかしもっと根本的に子育てに関して基本となる考え方を養うことが、極めて重要です。それによって、子供にまつわる問題が起こることを未然に防ぐことにも繋がります。発達障害も、一部予防できると言われています。

起きている問題

- 親の孤立 育児不安 ⇒ 愛着形成不足
- 威厳の無い親 ⇒ 自立促進不足
- 育児の責任の放棄 ⇒ 学校任せ



「親学」の解決！

- 親自身の成長を求める
- 発達段階に応じた働きかけを学ぶ
- 父性・母性の役割を明確にする

「親学」は「親自身が変われば子供が変わる」ということを理念としています。教育の責任を自分以外の誰かに転嫁せず、親自身が自分の子供観や幸福感を見直し、成長すること、これが核心です。そして父性と母性の役割を意識することも、現代社会で失いがちな、バランス感覚なのではないでしょうか。

今回の質問で行政も「親学を研究する」と答弁してくれました。今後も千葉市での普及を、頑張りたいと思います。迷える親御さん達に少しでも役に立てるように…

千葉市議・田沼隆志（無所属）

- 昭和50年（1975）生 36歳
- 園生幼、小中台南小、小中台中、千葉東高、東京大学 卒
- 平成21年千葉市議補選にて最高位当選（11,781票）
- 平成23年千葉市議選にて再び最高位当選（8,522票）

お気軽にご連絡を♪

Twitter @tanumatakashi (投稿多数！)
 Blog http://ameblo.jp/tanuma
 Mail tanuma@tanuma.info
 TEL 043-253-9610 (必ずお返事します)
 事務所 小仲台4-14-8 (『園生園地入口』バス停向い)

メルマガ(無料)登録者募集！希望者はメールください！好評です♪